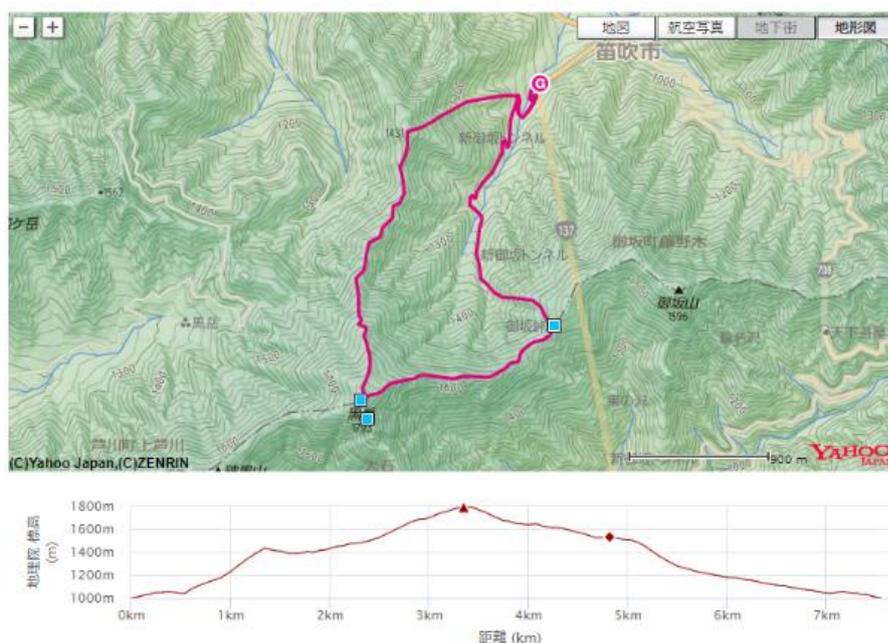


御坂黒岳 山行報告



(山城) 御坂山地

(コース) 藤野木駐車場-黒岳-御坂峠-藤野木駐車場

(日時) 9月16日(日)

(天候) 曇のち晴れ

(参加者) 柘植 (CL)、上荒磯 (会計)、室達 (記録)

(山行タイム) 8:05 藤野木駐車場→11:05 黒岳→12:10 御坂峠→13:15 藤野木駐車場

(山行報告)

錫杖岳と有明山に登る予定であったがあいにく天候が悪く、計画を変えて日帰りで御坂山地の藪山に行くことに。5時に千葉みなどの駐車場で合流し、藤野木へ向かう。8時に藤野木の駐車場に到着。ここから国道137号線を少し登って右手のうらぶれた細い車道へ入っていく。小さい沢を渡渉すると土木用の作業道に出る。これを横断し、尾根を目指して急斜面の山を直登。息を上げて尾根伝いに登っていく。森の中は盛夏のように湿気が高く、半袖一枚でも汗がふき出る。道中、さまざまな色形をしたキノコを目にする。枯れ葉の中から茎を伸ばして大きな傘を広げるもの、互いに寄り添うように群生して枯れ木の幹からひかえめに顔を出すもの、いろいろである。

1430 ピークからは平坦な道が続くが、枝やクモの巣に引っかかって少し歩きづらい。藪の中をくだるうちに尾根から右の方にそれてしまい、トラバースして尾根に戻った。途中、鋭い爪で引っ掻いたような深い跡のある幹を見つけた。おそらくクマが引っ掻いたのだろう。がおー(・ε・)



尾根は再び登り気味となり、これを喘ぎながら進んでいくと、不意に一般登山道と合流する。この登山道沿いに行けば、黒岳山頂はすぐそこ。山頂から 200m ほど歩いたところが展望台となっており、富士山が正面に見えるとのことだが、当日は白い帳のように厚くたなびく霧しか見えなかった。こころで透かし見る霧中の富士山こそ美しかりけれと古人も言う。知らんけど。

黒岳から御坂峠までくだる道は、始めの方は岩が多くてやや神経を要するが、次第にゆるやかになり、のどかな遊歩道のような趣をもってくる。御坂峠は少し開

けた場所で、廃屋と化した茶屋が陰気にたたずむが、晴れた日は心地よい場所となるだろう。御坂峠からくだる登山道は、倒木や積み重なった枝々が散らかっており、かなり荒れはてている。30分ほど歩くと整った林道に出る。ここから、山に入る前に歩いた作業道と国道のあいだの林を抜けて駐車場に戻った。

柘植さんと上荒磯さんには行きと帰りで車を運転していただき、どうもありがとうございました。

